

生徒が売り場で商品PR

「可美しき金農豚」限定販売

秋田市のスーパー きょうと15日も



秋田市の金足農業高校生物資源科畜産専攻の生徒が育てた豚「可美しき金農豚」の精肉が8日、同市のスーパー3店で限定販売された。豚を育てた生徒8人が売り場に立ち、買い物客に金農豚をPRした。

同市外旭川のグランマート外旭川店には、バラ、ロース、ヒレなどの金農豚の精肉がずらりと並んだ。同校野球部のイメージカラーである紫のエプロンに身を包んだ生徒が「いらっしやいませ」「金農豚はいかがですか」と明るい声で商品をPRした。

試食コーナーも設けられ、生徒が金農豚をしゃぶしゃぶにして買い物客に配った。同市檜山の会社員米塚達さん(29)は「やわらかくて、味もおいしい。家に帰ったら焼いて食べてみたい」と話し、バラや細切れを手にとった。

生徒が育てた豚はこれまで県産豚として市場に流通していたが、生徒に生産だけでなく、流通や販売についても学んでもらいたいとい

う思いから、出荷先の県食肉流通公社(秋田市)から学校オリジナルの名前を付けて販売することを提案され、今回初めて実施した。

名称の「可美しき金農豚」は、金足農業高校の校歌の歌詞「可美しき郷 我が金足」からとった。

2年の菊地凜さんは「試食した方においしいと言ってもらえてうれしい。愛情込めて育てたお肉をぜひ買ってほしい」と笑顔で話した。

「可美しき金農豚」はきょう9日もグランマートの外旭川店、泉店、手形店で販売する。15日は、いとくの新国道店、自衛隊通店、土崎みなと店、追分店、男鹿ショッピングセンターの5店で販売する。(出澤陽立)

(令和7年3月9日(日) 秋田魁新聞より一部抜粋)